

保険・年金 フォーカス

世界生命保険マーケット将来予測 ー2035 年収入保険料各国ランキング ー今後 10 年は年平均 5 %成長

保険研究部 上席研究員 有村 寛
(03)3512-1822 arimura@nli-research.co.jp

ドイツ最大の保険グループであるアリアンツは、2025年5月27日付で、「Allianz Global Insurance Report 2025: Rising demand for protection」を公表した。同レポートでは、世界の保険マーケットの2024 年における現状や、各国の 10 年後の収入保険料を予測しており、アリアンツでは毎年同時期に公表している。

同レポートによれば、2024 年における世界の保険マーケットは、対前年で損害保険は 7.7%増、生命保険は同 10.4%増であり、特に生命保険は著しい成長を示した。

また、2035 年までの間において、損害保険は平均 4.5%、生命保険は同 5.0%の成長を予測している。

【図表 1】保険マーケット成長率（世界合計）

	2024年	今後10年（-2035年）
生保	10.4%	5.0%
損保	7.7%	4.5%

（資料）Allianz「Allianz Global Insurance Report 2025」。

1——2024 年の世界保険市場の状況

2024 年における世界の生命保険マーケット（合計値）は、上記のとおり対前年で 10.4%増と好調だった。

（図表 2）は、2024 年の保険料収入ランキングである。

トップの米国は、高金利が続く中で、金利が低下する前に年金への駆け込み加入が多く発生したこ

とを背景に¹、対前年 23.0%増²と大幅に進展しており、近年著しい成長を続けている中国（19.7%）、インド（11.1%）を上回る水準となった³。

【図表2】2024年各国生保収入保険料（上位10か国）

順位	2024年収入保険料（億ドル）		
			増加率
1	米国	8,608	23.0
2	中国	4,568	19.7
3	英国	2,882	10.0
4	日本	2,079	▲ 18.7
5	フランス	1,874	13.0
6	韓国	1,609	▲ 5.8
7	イタリア	1,223	19.4
8	インド	1,111	11.1
9	ドイツ	972	2.6
10	カナダ	731	6.6
世界計		31,392	10.4

（資料）各国の数値については、筆者にてユーロからドルに換算。換算レート(1.0817)は、日銀「外国為替市況（日次）」より筆者にて年平均値を算出。
各国の増加率については、Allianz「Allianz Global Insurance Report 2025」、「同2024」より筆者にて計算。

日本は、中国、英国に続いて、第4位となっている。日本の増加率が、対前年▲18.7%と大幅減少であるが、生命保険協会が公表している収入保険料は、2024年度 36.8兆円、2023年度 37.5兆円、2024年度は対前年▲1.9%であり、実態としては微減となっている。アリアンツの数値が大幅減となっている背景は不明であるが、2024年の記録的な円安も一因と考えられる⁴。

¹ 「Allianz Global Insurance Report 2025」 P8。

² 各国の増加率は、「Allianz Global Insurance Report 2025」ならびに「同 2024」掲載数値より、筆者にて計算した。以下、同様。

³ 「Allianz Global Insurance Report 2025」によれば、過去10年間（2014年-2024年）の生保収入保険料の平均増加率は、中国 11.7%、インド 10.2%に対して、米国は 4.8%となっている。

⁴ アリアンツの同レポートは、各国の収入保険料はユーロにて掲載されていることから、上記生命保険協会公表による収入保険料（2024年度 36.8兆円、2023年度 37.5兆円）を2024年平均レートにてユーロ換算すると、2024年対前年数値は▲9.0%、月別でみると最も円安となった7月平均レートだと、▲12.8%となる。

（円・ユーロの換算レートは、日銀「外国為替市況（日次）」より、年平均値、7月平均値を算出した。）

2——2035 年の世界生命保険市場の将来予測

(図表 3) は、上記レポートによる 2035 年における世界各国の生保収入保険料の予測値である。アリアンツでは、今後 10 年間の世界の生保マーケットについて、不確実性は高まっているものの、金利上昇の恩恵を受け、平均で 5.0%増になると予想している。

【図表3】2035年の生保収入保険料予測（上位10か国・地域）

（単位：億ドル）

順位	2035年収入保険料			（参考）（昨年予測）2034年収入保険料		
			平均増加率 (2025-2035)			平均増加率 (2024-2034)
1	米国	12,691	3.6	米国	10,666	3.9
2	中国	10,487	7.8	中国	8,656	7.7
3	英国	4,038	3.1	インド	4,068	13.6
4	インド	3,344	10.5	英国	3,722	3.2
5	日本	2,809	2.8	日本	3,405	2.6
6	フランス	2,622	3.2	韓国	2,634	4.0
7	韓国	2,622	4.5	フランス	2,282	2.9
8	イタリア	1,704	3.1	イタリア	1,631	3.1
9	香港	1,445	6.4	ドイツ	1,171	1.9
10	ドイツ	1,284	2.6	カナダ	1,097	4.4
世界計		49,568	5.0	世界計	45,067	5.0

（資料）2035年はAllianz「Allianz Global Insurance Report 2025」、2034年は「同 2024」より筆者作成。
各国の数値については、筆者にてユーロからドルに換算。換算レート(1.0817) は、日銀「外国為替市況（日次）」より筆者にて年平均値を算出。

各国別にみると、米国は、トップを堅持しているものの、2024 年時点では 2 位の中国の 2 倍近い水準（米国 8,608 億ドル、中国 4,568 億ドル）となっているのに対し、2035 年には中国が 8 割強の水準に迫っている。また、2024 年には第 9 位だったインドは、2035 年には英国に次いで第 4 位に、日本はそれらに続いて第 5 位になることが予想されている^{5,6}。

⁵ インドは、図表 2 の参考で示したとおり、昨年の「Allianz Global Insurance Report 2024」では、2034 年には第 3 位になることが予想されていた。また、表にはないが、「同 2023」における 2033 年予測でも、第 3 位とされていた。

⁶ 一方、フィッチ（Fitch Solutions Group Limited, BMI）による 2034 年の生保収入保険料予測によれば、トップの米国（11,301 億ドル、2024 年からの平均増加率 4.2%）に続いて、中国（6,082 億ドル、同 4.4%）、日本（4,744 億ドル、同 5.4%）、英国（3,266 億ドル、同 2.6%）、フランス（2,324 億ドル、同 1.8%）、カナダ（2,282 億ドル、同 6.5%）、インド（2,020 億ドル、同 7.4%）、ドイツ（1,850 億ドル、同 6.5%）、イタリア（1,782 億ドル、同 5.0%）、韓国（1,219 億ドル、同 3.9%）となっている。当予測では、2034 年においても依然として米国は中国の 2 倍近い（1.86 倍）水準となっており、両者の差は大きい。また、日本は第 3 位、インドは第 7 位となっており、予測主体によって、結果も区々である。

アリアンツは、2025 年の世界の GDP 成長率は、2.3%と、パンデミック以来の低水準に落ち込むと予想している⁷。米国のトランプ関税や、地政学的要因等を背景に、世界的な不確実性は、パンデミック時並みに高まるとされている。

政治・経済面における世界的な不確実性が高まる中で、世界の生保マーケットは、先が見通しにくい状況となっており、今後も引き続き注視して参りたい。

⁷ なお、IMF による 2025 年の世界 GDP 成長率は、2.9%となっている。(IMF「World Economic Outlook database: April 2025」の数値より、筆者にて計算。)